

# 令和3年度 事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会

## 1 事業の成果

平成24年6月特定非営利活動法人として設立されたこの会は「ミャンマーの無医村に、医療・菜園を通じ保健衛生・栄養などを学ぶ機会を提供し、彼ら自身が生活環境の課題を解決し、命を育む未来を描ける社会の実現をサポートする」ことを目標に活動している。ミャンマーにおいて選定した活動地エーヤワディ管区ミャウンミャタウンシップの12の村で平成27年1月から巡回診療を開始した。その活動は昨年度から保健衛生指導に主軸を移し、15の村へ拡大している。またその一方、モデル村(トイ村)および他の村(ダボチョン村など)の発展に寄与するため、その村のユースチームなど若者とミャンマーのNPO ミッターファンデーションと連携し有機野菜栽培のコミュニティガーデンの構築を開始している。保健衛生指導は令和3年4月1日から令和4年3月31日までに25回、延べ559人の受診者を得、病人の搬送波はなかった。前年度に比し、保健衛生指導の回数と受診者数が減少している。その理由として、平成最後の年の12月末に中国の武漢で発生したコロナ感染症の世界的な波及のダメージが大きい。ミャンマーでの感染拡大は令和3年6月~8月がピークになり、その波及で、活動が8月9月に一時静止の状況に陥った。さらに令和3年2月1日にミャンマーで勃発し、現在も続いている国軍によるクーデターの活動への影響は計り知れない。この2つの理由がミャンマー国内でのNGOの活動を妨げている。コロナ感染前は25団体が活動していたが、現在はMFCGを含め2~3団体のみが継続活動している。特に、コロナ感染に関し、MFCGが活動している村レベルでは、感染に関しての正確な情報の収集が不可能である。原因として、村の住民の人たちは、携帯を持参している人は殆どいない。また、電気もない環境なため、メディアのテレビなども持っていない。そのため、情報収集の方法としてはごく限られた情報や噂に頼ることになる。令和3年2月1日のクーデター後、セキュリティを慎重に考慮し、活動再開は12村で開始、現在は15村で行っている。しかし、国軍の駐屯基地の近くにある村では現在も活動を再開できていない。ヘルストークの内容は、当初、コロナ感染の予防に特化し、6つのすべき予防策と3つのしてはいけない予防策を村々の住民に伝えていた。最近では、熱中症やデング熱などにも村の背景によりフレキシブルに対応をしている。また、村の住民の殆どは、感染の影響で、農作業もできなくなり、収入は激減した。さらに、輸入・輸出の停止により、経済の活性が起こらず、失業率が増加した。そのため、日々の暮らしが成り立たなくなり泥棒や強盗事件が発生し始めた。MFCGはそれらの事実を受け止め、2つの新規プロジェクトを立ち上げた。①食料支援プロジェクト②持続可能な生活プロジェクトだ。どちらも、保健衛生の要素を組み入れて村を3つずつ選定し、行うことにした。①の中ではダボチョン村の若者との連携と地元ミャウンミャユースチームとの連携でダボチョンユースチームが12月に立ち上がった。実際に彼らと協働しダボチョン村全83世帯に食料支援(お米・油・豆・乾燥魚など)を3回行った。今後はこのチームを主軸にMFCGの活動を行う予定にしている。最終的に、このダボチョン村で②の持続可能な生活プロジェクト(保健衛生の知識・有機野菜栽培・村の開発・チームビルディングの4つ)に移行していく予定である。その他、MFCG初の取り組みで、ミャンマー人歯科医師チームをミャウンミャに招請し、歯科検診と歯科治療をトイ村とミョウハ村で行い、合計213名の住民がその恩恵を受けることができた。MFCGのミッションである住民の自立(自律)を啓蒙する一貫として、育成した各村での地域保健推進員(CHP)もMFCGのメンバーの一員として彼ら自身が保健衛生の大切さを住民に広めている。彼らは自分たちで村ごとに目標を掲げ、それを達成するにはどうすればよいか?など毎月、必ずミーティングを行い、改善策を練り、実践につなげている。菜園に関して、16の村のうちモデルケースとなるトイ村においてコミュニティガーデンを構築し、昨年は

5,000円ほどの黒字に転じた。が 今年には作物がうまく育たず赤字に転じている。日本ではコロナ感染の影響により毎年開催していた無料康相談会や報告会は延期とした。企画していたミャンマー料理を作る会などミャンマーと日本との親睦会などもすべて延期とした。その反面、新たな試みとし、ZOOMによるイベント開催を行った。このように状況が不安定な中でも、活動は継続して行われており、令和3年度の全資金の57%を活動費に活用した。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
A)国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業	1.ヘルストーク(保健衛生)啓発活動	令和2年4月1日-令和3年3月31日 計81回	ミャンマーエーヤワディ管区ミヤタウンシップ	4人	559人(HE)	3502
	2.活動報告会 (MFCG参加イベント、MFCGスタディーツアー説明会など)	延期				
	3.MFCG感謝祭(支援者との交流会など)や中医学講座およびMFCG年に一度の報告会など	2回	ZOOM(オンライン上)	2人	約30~50人/回	
	4.活動啓発活動(参加イベント・インタビュー雑誌掲載など)	令和2年奇数月掲載寄稿文計6回	鎌倉朝日新聞	1人	不特定	
		埼玉県人会寄稿文5月号	埼玉県人会	1人	1,000~13,000人	
				1		

B) 社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業	1. ヘルストーク（保健衛生）啓発活動	令和3年4月1日－令和4年3月31日  令和3年12月24日令和4年1月3月計3回	ミャンマー エーヤワ デ管区ミ ヤウン ミヤタ ウンシ ップ  ダボチ ヨン村	約4～6人  全世帯83 世帯	636人 (HE)  約1300人	4645
C) 災害その他の緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業	1. 水害被害への緊急物資支援	該当事項なし				0
D) 食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業	1. 専門家と連携した有機作物栽培の講習と実践	定例会（コミュニティ ガーデン ミーティ ング・そ の他）	ミャンマー エーヤワ デ管区ミ ヤウン ミヤタ ウンシ ップ  主にト ーイ 村とダ ボチ ヨン村	3～6人	6人	2643
E) 生活向上をめざす人々が作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創出事業	1. 専門家との連携した有機作物栽培の講習と実践	同上	同上	3～6人	6人	2603

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)